

防犯カメラ：ES-CW360シリーズ



取扱説明書

2017年5月更新
(設置工事説明書付)

- アナログ52万画素シリーズ
 - ・ 筒型・超広角固定レンズ
 - ホワイト：ES-CW360AW/C
 - ダークグレー：ES-CW360AG/C

- AHD200万画素シリーズ
 - ・ 筒型・超広角固定レンズ
 - ホワイト：ES-CW360PW/C
 - ダークグレー：ES-CW360PG/C



このたびは、当社製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
当取扱説明書をよくお読み頂き、正しく安全にご使用下さい。
特に、取扱説明書内に記載して御座います電気安全事項は遵守して下さ
いますよう、お願い申し上げます。
尚、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）	3
2. 同梱付属品	3
3. 商品概要	3
4. 配線全体接続例	4
5. 配線ケーブルご使用の際のご注意	6
① 映像ラインのケーブル選定	6
② 電源ラインのケーブル選定	6
③ 共通の注意事項	6
④ 一体型ケーブル以外を配線した場合の、必要なコネクタ類	6
6. 設置工事（全体の流れ）	7
① カメラ設置位置の選定	7
② カメラケーブルの逃がす方法の決定	7
③ カメラ設置面に対する支持材選定	8
④ 配線ルートの確保と配線工事	8
⑤ カメラの設置	9
⑥ 屋外で電源・映像一体型ケーブルを使用してカメラと接続した接続部分の保護方法	9
⑦ カメラ映像画角の調整	9
⑧ レンズの調整	9
7. 画角調整方法	11
8. 赤外線LEDについて	15
9. レコーダーで本機を録画するときの注意点	15
① アナログ52万画素シリーズの場合	15
② AHD200万画素シリーズの場合	15
10. 本機画素数とモニター画素数	15
11. カメラ外観図	16
12. カメラ仕様（アナログ52万画素シリーズ）	16
13. カメラ仕様（AHD200万画素シリーズ）	17
14. アフターサービスについて	18
15. ブルボックスを利用時のカメラ設置（参考資料）	19

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）



警告事項

- ① 設置工事は電源工事が必要な場合も御座います事から、工事業者が行って下さい。
- ② 異常が見られた場合には、全ての電源（コンセントを抜く等）を遮断して触れないようにしてください。放って置きますと、火災の原因になります。
- ③ 分解しないで下さい。機器内部に人体が触れますと感電する可能性があります。
- ④ 水気・湿気の多い場所に置かないで下さい。
- ⑤ 濡れた手で触れないで下さい。感電・火災の原因になります。
- ⑥ 設置工事の際、筐体・躯体へ止めるときは必ず決められた部材（アンカー・コンクリートビス等）で設置してください。落下の原因になります。
- ⑦ 雷の際の工事は直ちに中止してください。また配線の一切に触れないで下さい。
- ⑧ コード・ケーブル類の破損の恐れがある場所への配線は避けて下さい。
- ⑨ 電源プラグは確実に差し込んで下さい。また定期的にプラグの清掃をお願い致します。



禁止事項

- ① 専用アダプタへの電源は必ず A C 1 0 0 V を接続してください。
- ② 機器へは必ず決められた電源を供給してください。
- ③ ケーブル類は必ず決められた太さのケーブルを使用してください。感電・火災の原因になります。
- ④ 仕様表に基づく使用環境を遵守して下さい。

2. 同梱付属品

- | | | |
|----------------------|-----|----------------------------|
| ① カメラ本機 | 1 台 | |
| ② 角度調整用六角レンチ | 1 本 | |
| ③ カール P C プラグ（緑色の部材） | 4 本 | ※ コンクリートの壁面設置時のみ使用、天井面使用禁止 |
| ④ 木ネジ | 4 本 | |
| ⑤ 取扱説明書 | 1 冊 | |
| ⑥ 製品保証書 | 1 通 | |

電源アダプタ、ケーブル関連は別売りです。
レコーダーとのセット商品の場合はケーブル・アダプタが付属します。

3. 商品概要

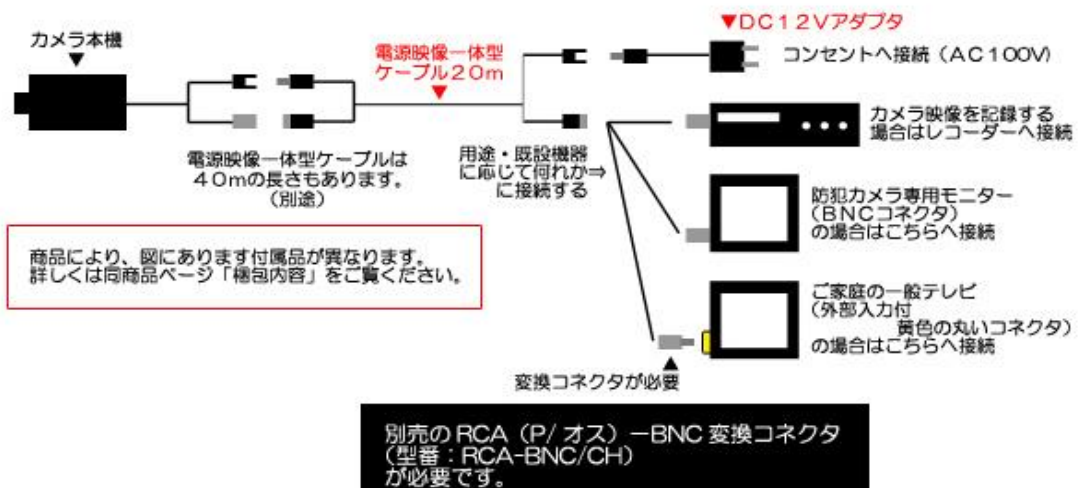
監視・防犯カメラ 暗視・防滴防雨・赤外線暗視機能搭載型カメラです。
主にご家庭・小規模店舗及び商店様向けです。

画素数は、

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ● アナログ52万画素シリーズ | ● AHD200万画素シリーズ |
| ・ 筒型・超広角固定レンズ | ・ 筒型・超広角固定レンズ |
| ホワイト : ES-CW360AW/C | ホワイト : ES-CW360PW/C |
| ダークグレー : ES-CW360AG/C | ダークグレー : ES-CW360PG/C |

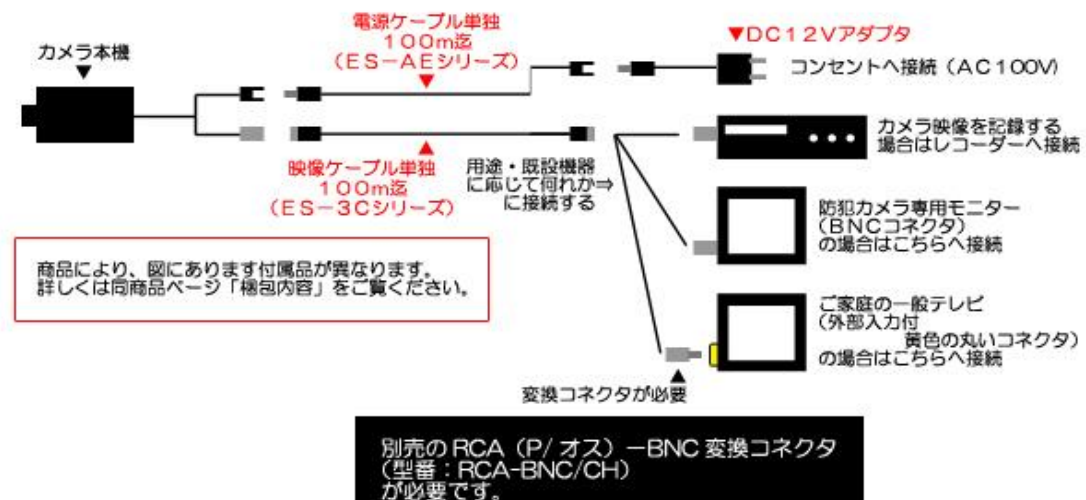
配線・接続例1

○一体型ケーブルを使用し、モニター側にコンセントがある場合



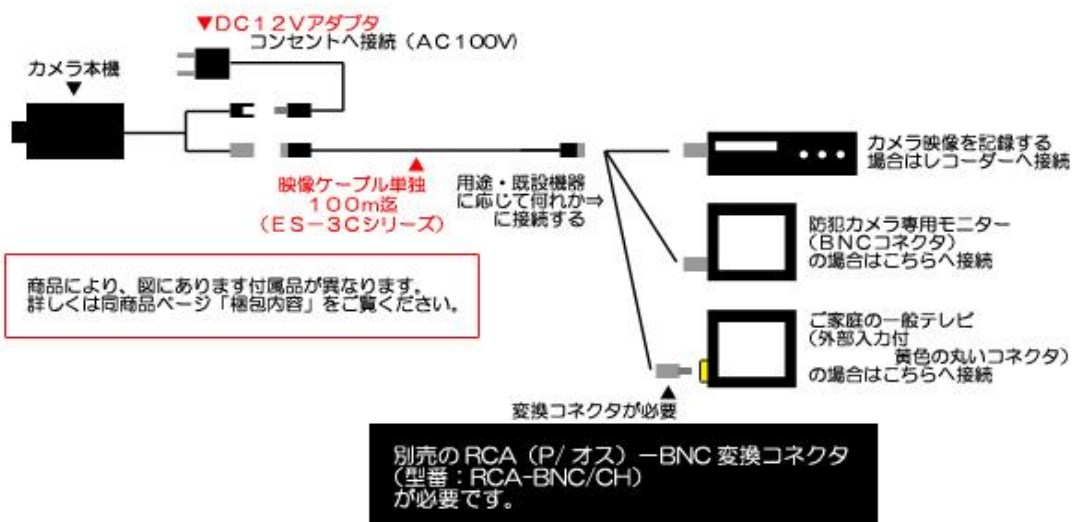
配線・接続例2

○ケーブルの長さが41m以上の場合且つコンセントがモニター側にある場合



配線・接続例3

○コンセントがカメラ直近にある場合



5. 配線ケーブルご使用の際のご注意

電源映像一体型ケーブルは40mまでのケーブル長でお願い致します。
但し、

- 電源映像一体型ケーブル20mをジョイントして40mにする方法はノイズが発生・映像信号減衰による映像不良の原因となります。
- 電源映像一体型ケーブルを40mまで敷設する場合は、該当商品である電源映像一体型ケーブル40m (ES-2C2V40・別売) をご利用ください。

① 映像ラインのケーブル選定

	1m～20m	21m～40m	41m～100m	101m～200m
一体型ケーブル20m	△	×	×	×
一体型ケーブル40m	○	△	×	×
同軸ケーブル3C	○	○	○	×
同軸ケーブル5C	○	○	○	○

- : 問題ない。
△ : 電磁誘導の要因があった場合、映像にノイズが乗る場合がある。
× : 映像不良の誘発に繋がります。

※ 同軸ケーブルのインピーダンスは75Ωで種類はF・B・2Vどちらでも可。

② 電源ラインのケーブル選定

	1m～20m	21m～40m	41m～100m	101m～200m
一体型ケーブル20m	○	×	×	×
一体型ケーブル40m	○	○	×	×
太さ0.9mmの2芯	○	○	○	○
太さ1.2mmの2芯	○	○	○	○

- : 問題ない。
× : 電圧ドロップにより、カメラに十分電圧供給出来ない可能性がある。

※ 電源ラインで一体型ケーブル以外には、HP、CPEV、AE、OP線等。



電源ラインのケーブルにおいては0.9mm以下の使用は避けて下さい。
※0.9～1.2mm推奨

③ 共通の注意事項



- ① 配線するケーブル線種の長さは上記表を遵守してください。
- ② カメラから機器側末端までケーブルのジョイントは極力避けて下さい。
- ③ ケーブルは強電ラインと確実に離して配線を行ってください。
- ④ 一体型ケーブル以外を使用する場合は、カメラ側・機器側に合うコネクタを別途、お客様にて調達する必要があります。

④ 一体型ケーブル以外を配線した場合の、必要なコネクタ類

- 映像ライン（同軸ケーブルの場合）はインピーダンス75ΩのBNCコネクタ

1) 同軸ケーブルは3C-FBの場合は3C用圧着式コネクタ
当社型番：BNC-3C

但し、コネクタを取付するには専用の圧着工具が別途必要です。

- 電源ライン（2芯ケーブルの場合）は以下の2点

1) DC12Vケーブルサキバラ用コネクタ/メスジャック・ネジ締式取付
2) DC12Vケーブルサキバラ用コネクタ/オスプラグ・ネジ締式取付

当社型番：ES-DCP55JM

当社型番：ES-DCP55PO

6. 設置工事（全体の流れ）

① カメラ設置位置の選定

- カメラの設置位置を決めるため、設置予定箇所に仮設（手で持つ等）して実際にモニタリングしてください。
- 下記②にてカメラ固定が出来るかどうか、設置面に入線口用の開口が出来るかどうかの確認もする必要があります。
- 電源周波数50Hz地域（東日本）は照明直下・直近ですチラつきが発生する恐れがあります。極力照明から離し、且つ照明が極力画像内に入らないよう角度調整してください。
- 本機は機種により、カメラと被写体との直線距離目安があります。
これは顔などの証拠能力として捉えられる目安範囲（当社にてお勧め値・目安値）です。

・ ES-CW360シリーズ	3～8m	※ 本機
・ ES-CD200シリーズ	3～8m	
・ ES-CW420シリーズ	ズームアップ・ズームインが手動で可能：2～15m	
・ ES-CD241シリーズ	ズームアップ・ズームインが手動で可能：2～15m	

これを1つの目安として設置位置を検討してください。

- 設置位置（屋外・屋内）の設置可能場所は以下の通りです。

・ ES-CW360シリーズ	屋内・屋外（雨ざらし対応可）	※ 本機
・ ES-CD200シリーズ	屋内・屋外（雨ざらし対応可）	
・ ES-CW420シリーズ	屋内・屋外（雨ざらし対応可）	
・ ES-CD241シリーズ	屋内・屋外（水気の無い軒下は可能、雨ざらし不可）	

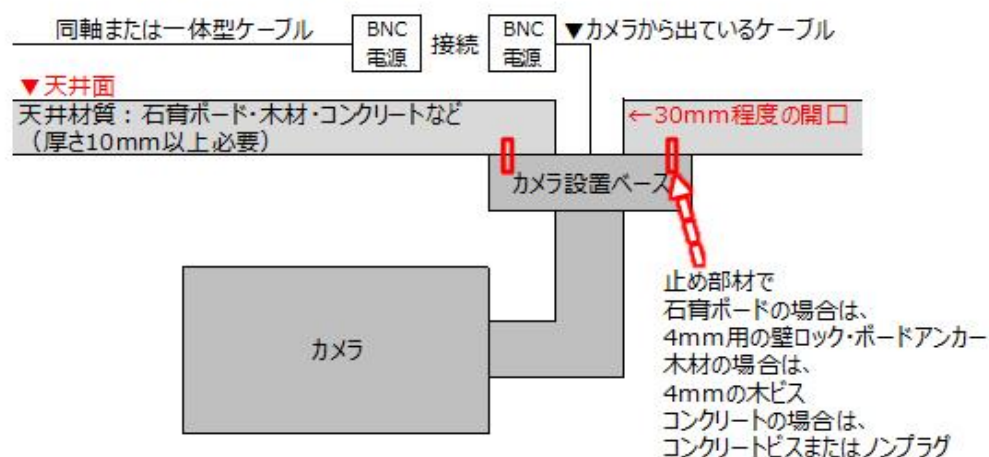
② カメラケーブルの逃がす方法の決定

カメラケーブル配線ルートで、カメラ設置箇所により方法が異なります。
以下図はカメラ設置面裏側（天井裏）に配線した場合の例です。
筒型カメラとドーム型カメラも同じ考え方です。

▼天井面・壁面設置の場合

天井裏にスペースはまたは配線ルートが確保出来る場合は以下のような方法があります。

ドーム型カメラも同様な考え方です



このように設置面側に
ケーブルが逃がせない場合＋屋外設置
の場合は次にご説明するプルボックス施工がお勧めです。

一方で設置面裏側（天井裏）に逃がせない場合は、下記写真のように市販されているプラスチックモール等で配線を隠蔽す
お部屋の美観を損なわず配線する事が出来ます。



← プラスチックモール
太さもいろいろあります。

③ カメラ設置面に対する支持材選定

設置しようとする壁面・天井の材質を確認してください。ここでは材質による、止め金具（ビス等）の例を挙げます。

● コンクリートの場合（ドリルで穴開け可能な躯体）

- ・ 付属のカール P C プラグと木ネジ
- ・ コンクリートビス



付属のカール P C プラグは横向きの場合のみ使用可。
縦方向での使用は避けて下さい。

● 石膏ボードの場合（1枚張り・2枚張り）

- ・ ボードアンカー
- ・ カベロック

● その他（上記2点以外の材質）

設置困難な場所（電柱・木材・凹凸部等）は、脱落防止の為、別途支持材（プルボックス・自在バンド等）を
使用し、確実に固定出来る金具をご調達下さい。



注意事項

- 1) 脚立を使用して設置するような場所には、必ず支持ワイヤーで脱落防止措置を取って下さい。
太さは1mm程度が望ましいです。
- 2) カメラ設置後、躯体に確実に固定されているか必ずご確認をお願い致します。

④ 配線ルートの確保と配線工事

配線に関する注意事項は「配線ケーブルご使用の際のご注意」をお読みください。

配線工事時はケーブルを無理に伸ばしたり曲げたりしないで下さい。

必要以上の圧力をかけると、内部で折れたり切断されたりします。

また、カメラ側と機器側（モニター等）の両末端は若干たわみが出る程度の余裕な距離の確保をお願い致します。

※ 一体型ケーブルを使用する際の注意事項

一体型ケーブルの両端の電源コネクタ形状は異なります。

従って、一体型ケーブルを配線する場合以下になるよう配線をお願い致します。

機器側（モニター等）
電源ラインがメスになる

カメラ側
電源ラインがオスになる



⑤ カメラの設置

本機は取付ベースが一体型になっております。
従って分解などの必要はありません。

前頁の②で選定したカメラ支持材（ビス等）を使用してカメラを確実に固定してください。
またカメラ設置の際、配線したケーブルとの接続をしておいてください。
その後、機器側（モニター等）を接続してください。
そして、最後にカメラへ電源供給するアダプタを接続してください。

筒型カメラで屋外に設置した場合はブルボックスを利用した施工方法もあります。
P19-「15.ブルボックスを利用してのカメラ設置（参考資料）」をご覧ください。

⑥ 屋外で電源・映像一体型ケーブルを使用してカメラと接続した接続部分の保護方法

下記写真の接続部が屋外露出する場合、外気と水気に触れないよう、以下の写真のように接続部を電気工事用ビニルテープで保護してください。



▲
**カメラ・一体型ケーブル
接続前**



▲
**カメラ・一体型ケーブル
接続後**



▲
**接続部をビニルテープで
厳重に保護する
※文房具テープは不可
電気工事用をご利用ください。**

※電気工事用ビニルテープはホームセンターの電気材料・資材コーナーなどで安価で入手可能です。

⑦ カメラ映像画角の調整

モニターに映像を映し出ししながら、下記の方法に従って画角を調整してください。
調整が終わったら、確実に固定してください。

画角調整方法はP11-「角度調整の方法」をご参照ください。

これでカメラ設置は完了です。

⑧ レンズの調整

本機は固定レンズの為、調整の必要はありません。

memo.

7. 画角調整方法

設置工事方法はP7-「6. 設置工事（全体の流れ）」をご覧ください。

▼角度調整の方法



角度調整はA・B・Cすべてを緩めます。
A・Bは付属の六角レンチで、Cは手動で緩めます。
この3点を緩めると上下左右及び傾きが調整出来ます。



重要
固定作業



角度がある程度定まったら固定します。
写真1のAとBは付属の六角レンチで締め付けてください。
Cを固定する時は注意が必要です。
写真2は緩めている状態で設置面側に隙間が空いています。
Cを固定するにはCを回してき、写真2の設置面側の隙間がなくなるまで締めてください。
最後に強くしめて確実に固定してください。

カメラ角度によっては写真3のようにカメラ本体側に隙間が出来る場合がありますがこの部分は隙間が出来ても問題ありません。

memo.

|

memo.

memo.

8. 赤外線LEDについて

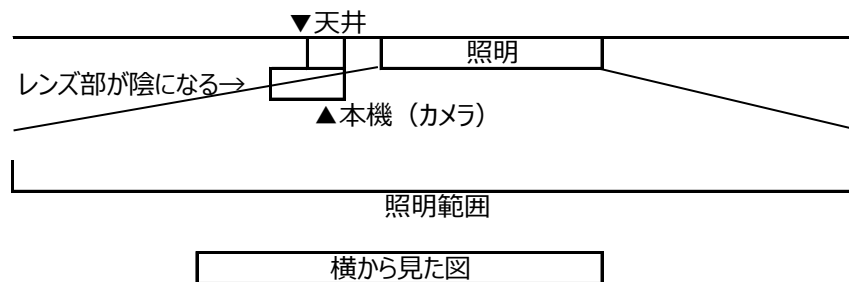
夜間（センサー部が明るさを検知して暗さを判断）になると、赤外線LEDが被写体に照射して証明がまったくない場所でも鮮明（映像は白黒）に映し出します。

しかしこれはあくまでも赤外線が被写体が浴びて、浴びた被写体だけ映像として捉えるので、上記の赤外線投射距離を明らかに超える、遠くの風景はカメラは捉えることが出来ません。

従って、上記赤外線投射距離を超える遠くの風景をカメラが狙っていた場合は何も映りませんが、この時に赤外線投射距離内に人や車が通貨した場合はカメラは捉えることが出来るという仕組みです。

赤外線LEDについて以下のご注意事項があります。

- ① 明るい場所でも以下のような条件の場合、赤外線LEDが作動して映像が白黒になる場合があります。



- ② 照明の色が通常の蛍光色以外で周囲が明るい場合でも赤外線LEDが作動して映像が白黒になる場合があります。
- ③ メインとなる被写体に補助的にセンサーライトなどの照明を夜間に照射した場合、その光を本機が拾って、本機の赤外線LEDが作動しない場合があります。
この場合、被写体を鮮明に捉える事が出来ない可能性があります。
補助照明がある場合は、かならず夜間時に赤外線LEDが作動するか否か？
被写体はイメージ通りに捉える事が出来ているか否かを画像で確認する必要があります。

9. レコーダーで本機を録画するときの注意点

① アナログ52万画素シリーズの場合

レコーダーで録画する場合のエンコードは「960H」で録画します。
またエンコード設定で「960H」の設定項目があるレコーダーのみで録画する事が出来ます。

② AHD200万画素シリーズの場合

レコーダーで録画する場合のエンコードは「1080P」で録画します。
またエンコード設定で「1080P」の設定項目があるレコーダーのみで録画する事が出来ます。

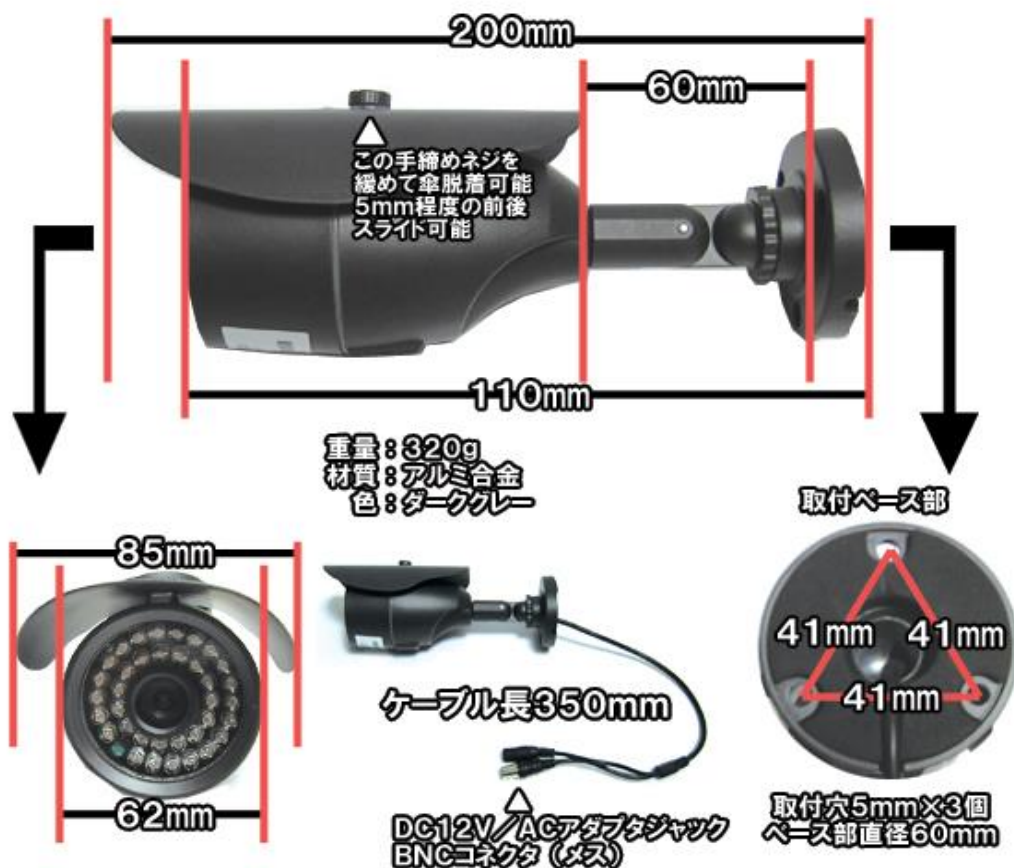
10. 本機画素数とモニター画素数

本機画素数は52万画素または200万画素ですが、モニター側がこれを下回る画素数ですと本機本来の画素数が保てません。

モニター表示する場合は、モニター側の画素数もご注意ください。

また本機をレコーダーやコンバータ経由で130万画素や200万画素出力(VGAかHDMI出力)した場合は、本来の52万画素より鮮明に映ります。

11. カメラ外観図



12. カメラ仕様 (アナログ52万画素シリーズ)

▼本機▼

総画素数	52万画素(960H) / アナログ			
型番	ES-CW360AW/C ES-CW360AG/C	ES-CD200AW/C ES-CD200AB/C	ES-CW420AW/V ES-CW420AG/V	ES-CD241AW/V ES-CD241AB/V
外観				
ボディカラー	ホワイト ダークグレー	ホワイト ブラック	ホワイト ダークグレー	ホワイト ブラック
形状	筒型	ドーム型	筒型	ドーム型
設置可能箇所	屋内・屋外			屋内・屋外軒下
防塵・防雨仕様	○ : IP66 (雨ざらし対応)			× : 雨ざらし非対応
ボディ材質	アルミ合金			プラスチック
赤外線LED・投射距離	36灯・20m	24灯・20m	48灯・40m	無
被写体識別目安距離	2~5m		2~15m	
搭載レンズ	3.6mm (固定)		2.8~12mm (手動調整可)	
画角範囲	水平約67°垂直約53°		ズームアウトMAX時: 水平81° 垂直64° ズームインMAX時: 水平22° 垂直17°	
CCD/解像度/F値	1/3' CMOS / 800TVL / 画像明るさ指標2.0 (標準)			
ビデオ・音声信号出力形式	●映像: NTSC / CVBS (コンポジット映像信号) / 1Vp-p:75Ω ●音声なし			
各種レベル調整	電子シャッター1/60sec / 映像レベル調整: 固定 / 色彩調整: 固定			
電源/消費電流/電力	DC12V/300mA/3.6W		DC12V/600mA/7.2W	
重量[g]	320	280	ホ660/タ700	270
寸法[mm]・詳細別項	横85・奥200	底面径93・高78	ホ横74・奥254/タ横74・奥305	底面径127・高96
使用温度範囲	-5℃ ~ +40℃			0℃ ~ +40℃
付属品	日本語取扱説明書・保証書・ビス関連 / アダプタ・ケーブル別売 (レコーダーセットは付属)			
製品保証期間	2年間 (別途有償で合計3年保証制度有)			

13. カメラ仕様（AHD200万画素シリーズ）

▼本機▼

総画素数	200万画素(1080P) / AHD2.0			
型番	ES-CW360PW/C ES-CW360PG/C	ES-CD200AP/C ES-CD200AP/C	ES-CW420PW/V ES-CW420PG/V	ES-CD241PW/V ES-CD241PB/V
外観				
ボディーカラー	ホワイト ダークグレー	ホワイト ブラック	ホワイト ダークグレー	ホワイト ブラック
形状	筒型	ドーム型	筒型	ドーム型
設置可能箇所	屋内・屋外			屋内・屋外軒下
防塵・防雨仕様	○：IP66（雨ざらし対応）			×：雨ざらし非対応
ボディー材質	アルミ合金			プラスチック
赤外線LED・投射距離	36灯・20m	24灯・20m	48灯・40m	無
被写体識別目安距離	2～5m		2～15m	
搭載レンズ	3.6mm（固定）		2.8～12mm（手動調整可）	
画角範囲	水平約67°垂直約53°		ズームアウトMAX時：水平81° 垂直64° ズームインMAX時：水平22° 垂直17°	
CCD／解像度／F値	1/3' CMOS / 1080P / 画像明るさ指標2.0（標準）			
ビデオ・音声信号出力形式	●映像：NTSC / CVBS（コンポジット映像信号） / 1Vp-p:75Ω ●音声なし			
各種レベル調整	電子シャッター-1/60sec / 映像レベル調整：固定 / 色彩調整：固定			
電源／消費電流／電力	DC12V／500mA／6W		DC12V／700mA／8.4W	
重量[g]	320	280	ホ660/タ 700	270
寸法[mm]・詳細別項	横85-奥200	底面径93-高78	ホ横74-奥254/タ横74-奥305	底面径127-高96
使用温度範囲	-5℃～+40℃			0℃～+40℃
付属品	日本語取扱説明書・保証書・ビス関連 / アダプタ・ケーブル別売（レコーダーセットは付属）			
製品保証期間	2年間（別途有償で合計3年保証制度有）			

14. アフターサービスについて

1. 日頃のお手入れについて

3カ月に1度は、本機の外観のホコリ等の除去をお願い致します。

2. 本機に異常が見られたとき

- ① 保証期間内に異常が見られた場合は、別紙保証書の保証規定をご覧ください。
- ② 保証期間外に異常が見られた場合ですが、一度当社へご連絡をお願い致します。
当社は安価型システム販売専門としている為、安価型商品を修理致しますと、以下のような項目の費用が発生し、最終的には新品価格と同等以上になります。

- 1) 修理部品(症状により様々)
- 2) 修理工賃
- 3) 諸経費
- 4) 配送費

従いまして、原則修理は受け付けておらず、新品への更新をお勧めしております。
但し、不具合の症状の中には本機異常以外の理由で、

例1 : 映像にノイズ発生。
実は、コネクタ接続部の接触不良で本機には問題なし。

例2 : 映像が映らなくなった。
実は、モニターの電源が付かなくなっていた。

という事も御座いますので、機器点検は当社にて受け付けております。
エンドユーザー様より当社への発送費用保証期間内は着払い（発着・弊社負担）、
保証期間外は元払い（発着・お客様ご負担）になります。

その点検にて軽微な症状例の場合ですが、以下に例を明記します。

例1 : ケーブル類の接触・断線寸前（カメラ関係でよくある症例）
⇒ 修理可能

例2 : 内部バッテリー、HDD異常（レコーダー関係でよくある症例）
⇒ 修理可能

というように、軽微な症状例ですと修理は可能で御座います。
点検ご依頼の際は、点検結果をご報告致し、その際に軽微な症状に対する修理が可能と判断させて頂いた場合は、お見積り金額も提示させて頂きます。尚、点検は無料にて行っております。

尚、廃棄物処理は受け付けておりませんので、当社へお送りして頂いた商品は必ずご返送させて頂きます。

3. その他ご不明な点に付きましてはお問合せください。

合同会社エレックスシステム TEL 045-317-9873 FAX 050-3156-3747

Copyright © ELEX SYSTEM. All Right Reserved.

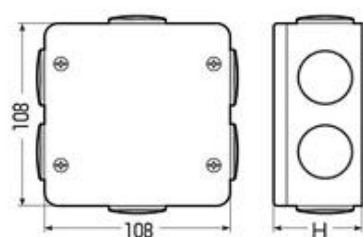
▼STEP1 尚、当社でもボックス（加工・組立済・ビスなどの付属品付）は販売しております。

以下のようなボックスを使用します。
当社でもご用意可能です（当社加工費含・別売り）。
推奨するブルボックスは

- ボックスメーカー：未来工業
- 名称：PVK ボックス（防水タイプ）おねじキャップ付
- 製品型番：PVK-ANPJ（ページュ）

です。下記写真はボックスの図面・写真です。

ブルボックスは当社でも、加工・組立
付属品付で別売り販売
しております。



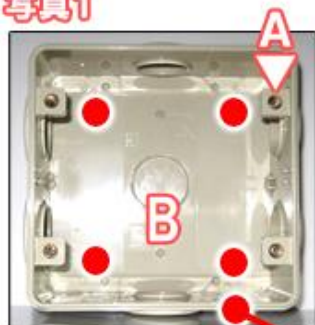
▼STEP2 尚、当社でもボックス（加工・組立済・ビスなどの付属品付）は販売しております。

このブルボックスのフタを以下のように加工します。



フタ側にカメラ止穴を3点と中央に
30mmの入線口1点。
ステンレス鋼頭・首下30mmのビス3本
ステンレス4mm用平ワッシャー3枚
ステンレス4mmナット3個
でフタと連結します。

写真1



次にボックス内部に左写真のように5mm程度の穴を4点開けます。
ボックスを設置面に固定するビス穴を作ります。
この5mm程度の穴を開ける時に気を付けなければいけないのが
フタとボックス固定するA部分のネジ穴と今から開ける穴が被らない
ようにしてください。

設置面内側からケーブルが入る場合、Bが切込になっていますので
ドライバーなどで叩くと簡単に穴が空きます。

底面に5mm程度の水抜き穴を1点
空けます。

▼STEP3 尚、当社でもボックス（加工・組立済・ビスなどの付属品付）は販売しております。



**重要
固定作業**

次の工程として写真1のボックス本体をビスなどで固定しますが
ビスなどの止め部材の選定が必要です。
設置面の材質により止め部材を変えてください。

尚、当社でボックス（加工済・付属品付）の場合は設置面止め
部材として、

ステンレスラスタツピンビス・首下40mm 4本



が同梱されています。

但し、設置面により止め部材を変更する必要があります。
以下は使用例です。

石膏ボードの場合：ボードアンカー、壁ロック、バット・ITハンガー
コンクリート等の躯体：コンクリートビス、ノンブラグ

ビスの太さは4mm が適切です。
同梱のビス以外はお客様にてご調達ください。
止め部材の選定を誤りますと落下・脱落の危険性があります。

▼STEP4 尚、当社でもボックス（加工・組立済・ビスなどの付属品付）は販売しております。



左写真のようにケーブルをボックス内に
入れ込み、接続そして写真の様にケーブルを
収納してカメラ側のフタを被せてください。

